

2022 年度 事業報告

2022 年 4 月 1 日から

2023 年 3 月 3 1 日まで

学校法人 豊中キリスト教会学園

幼保連携型認定こども園豊中愛光幼稚園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 豊中キリスト教会学園（1989年4月1日法人設立）
 代表者 理事長 入江保夫
 住 所 豊中市末広町1丁目2番28号
 電 話 06-6853-9677
 F A X 06-6853-9687

設置する学校

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号
 名 称 幼保連携型認定こども園 豊中愛光幼稚園

役 員

理 事 6名
 監 事 2名
 評議員 13名
 理事会 5回開催
 評議員会 3回開催
 職 員 28名【常勤 16名 非常勤 15名(アルバイト含む)】

2. 事業の概要

（認定こども園豊中愛光幼稚園）

《教育方針》

キリスト教精神に基づき、自由遊びを中心とした保育を進める。主体性と社会性、創造性と責任感を持った心身ともに調和のとれた子どもに成長するよう導く。

《教育内容》

遊び込みと異年齢保育による子どもたちのつながりの中から、自由に育ち、自由な発想と自ら考えて決める喜び、そして協調性を楽しむ心、神を愛し、人を愛し、自分を愛する子どもに育つように、安全できめ細かい保育と環境作りを行う。

	0 歳児		1 歳児		2 歳児		ク ラ ス 数 計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	3	1	10	1	10	3	23
2020 年度	1	3	1	10	1	11	3	24
2021 年度	1	3	1	10	1	11	3	24
2022 年度	1	3	1	10	1	12	3	25
	3 歳児		4 歳児		5 歳児		ク ラ ス 数 計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	22	1	25	1	25	3	72
2020 年度	1	27	1	22	1	26	3	75
2021 年度	1	24	1	26	1	22	3	72
2022 年度	1	21	1	26	1	26	3	73

《職員構成》

園長 1 名
副園長 1 名
主幹保育教諭 2 名
保育教諭 20 名
チャプレン 1 名、キリスト教教育主事 1 名、キンダーカウンセラー 1 名
看護師 1 名、事務長 1 名、事務員 2 名
栄養士 1 名、調理師 3 名、体育講師 1 名

《保育時間及び延長保育》

教育標準時間

1 号認定こども

保育時間 午前 9 時～午後 2 時 月曜日～金曜日 土・日曜日休園日

延長保育 午前 8 時～午前 9 時、午後 2 時～午後 6 時

2 号認定こども・3 号認定こども

標準保育時間 午前 7 時～午後 6 時 月曜日～土曜日

延長保育 午後 6 時～午後 7 時

短時間保育 午前 9 時から午後 5 時

延長保育 午前 7 時～午前 9 時、午後 5 時～午後 7 時 月曜日～土曜日

《納付金》

保育料 市町村の納税額に応じて。豊中市等市町村が定めた額。

特定保育料 3 歳以上クラスの入園者は、月額 2,000 円（10 ヶ月）を施設設備充実費として納入する。

《入園時の費用》

事務手数料 5,000 円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後 2 時～午後 6 時、2 時間 300 円。

夏冬春休み中の預かりも実施。

《行事予定》

春（4 月） 入園式、進級式、春の日礼拝、花の日、春の遠足

夏 水あそび、夏期保育、デイキャンプ

秋 秋の遠足、かがやけひかりのこどもたち!!(運動会)、秋の実り礼拝

冬 クリスマス礼拝と祝会、お餅つき、芸術鑑賞会、お店屋さんごっこ

春（3 月）春の訪れを喜ぶ日(ひなまつり)、お別れ会、修了式、卒園式

毎月 誕生会

毎週月曜日 特別礼拝日

《施設関係》

敷地面積	7 6 3 . 9 0 m ²	運動場面積	4 0 2 . 9 5 m ²
園舎面積	5 3 9 . 8 9 m ²	構 造	RC 構造
耐震工事	2 0 1 4 年 3 月に工事完了		

《設備関係》

防犯で求められる設備の整備、災害時を想定した備品類の整備

《事業方針とその計画》

2022 年度もコロナ禍の影響、社会情勢の急激な変化など、当園にとっても様々な環境の工夫が必要となる年だった。

その中で、3 つの方向性を持った。1. 必要な感染予防対策を徹底し、教育・保育活動が継続していけるように努めること。2. 子どもたちの育ちのために最優先すべきことが何かを考え、必要となる環境整備と工夫を進めていくこと。また、3. 少子化の中で、人的にも物的においても質の向上を目指し、園の特徴(キリスト教保育、異年齢保育、チーム協働、子育て支援など)の充実化を目指すこと。この 3 つの方向性から具体的には、以下項目内容を見直しながら取り組みを行った。

1. 教育・保育の質の向上
2. 教育・保育環境の整備と改善
3. 働きやすい職場環境の整備
4. 子育て支援の実現
5. 関係者評価の実施
6. 選ばれる園を目指しての 100 周年事業計画の検討

1. 教育・保育の質の向上

日ごろから直接対話すること、園内研修の充実を図ること、教育・保育環境を見直すこと、また積極的な外部研修への参加を心がけ、各自がキャリアアップにつながる学びの時間を大切にした。また、園の精神的背景となるキリスト教については、毎週月曜日に行っている特別礼拝のお話を各保育教諭が持ち回りで担当した。そのことは、各自で学び、人に聞き、考える機会となり、教育・保育の質の向上や同じ方向性に向いて進むための『チーム力アップ』につながった。

また、少子化に伴う利用定員数の変更を行い、長時間過ごすことが多くなったこどもたちが安心して過ごすことのできる教育・保育環境の質の向上を図った。

一人ひとりを大切にするキリスト教保育の精神や園の特徴としている異年齢保育の充実を図るためのチーム力の向上を今後も目指したい。

2. 教育・保育環境の改善

最優先として予定していた幼児クラスの机やいすの購入を行った。その他、園内の照明を LED 照明に取り換えた。どちらの環境改善も補助金申請が通り実施することができた。予定外のこととしては、落雷による電気機器関係の故障があったが、災害保険の適用が認められ対処することができた。

前年度から引き続き、順を追ってハード面における改善が必要となってくるものが予想されるが、100 年を迎えようとしている中で、環境整備を 100 周年の事業計画として考えこどもたちにとってよりよい教育・保育環境となるよう積極的改善を図っていきたい。

3. 働きやすい職場環境の整備

教育・保育環境の充実の大きな要因は、人を大切にすることであると考えている。教職員の意識改革とコミュニケーションに努めながら気持ちよく役割分担を担う人員確保が必要となった。

新規、及び中途採用ともに人員確保を推進するため以下の事項を実施した。

- ① 園のホームページの更新と改善
- ② 実習生、アルバイト、ボランティアスタッフの受け入れ
- ③ 学生、中途採用への情報発信のツールでの発信継続
- ④ ハローワークへの継続的な情報発信

中でも、②は大きな効果があった。

また、デジタル化の推進を進めたが、現場に見合った効果的な運用をいかに行うか、試行錯誤している。

4. 計画性を持った子育て支援の実現

コロナ禍で制限されることも多かった事業だったが、キンダーカウンセラーの必要性は保護者に求められていた。子育てに自信を持った保護者が増えることを後押しするために、以下の事業は有用な取り組みと考え、『今できるかたち』を模索しながら進めた。

- ① 園庭開放『ひよこ』の月 1 回程度の開催
- ② キンダーカウンセラーの実施
- ③ 子育て相談の実施と取り組み
- ④ 2 歳児の親子教室『うさぎ』開講
- ⑤ P.T.A 活動への協力と連携
- ⑥ 子育て応援のための講演会等の実施
- ⑦ 卒園児支援『ひかりのこ』クラスの実施
- ⑧ 実習体験の受け入れ(支援学校生、中学生、就労体験など)

上記の中で、中学生等の就労体験や記載していないが一時預かり事業などはコロナ禍で積極的に行うことができなかった。

5. 関係者評価の実施

豊中こども財団（豊中市私立幼稚園連合会）の公開保育を10月に実施した。関係者評価の実施の手掛かりとなっただけでなく、園が子育て支援の場所として求められている園であることを保育教諭が再確認することができた。また、各保育教諭が園の良さを見直すことや各自の仕事への自信につながる機会にもなった。

6. 選ばれる園を目指しての100周年事業計画の検討

100周年の事業計画を検討する委員会を発足した。

<収支決算書>

別紙の通り

以 上